

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		福岡市立南部療育センター		公表日		令和 8年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援において、お子さんの支援に効果的な教具教材の助言を園の職員にしていると思いますか。	<input type="radio"/>		お子さんの状態をアセスメントし、必要な教材等について助言している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		定められた職員配置の中で、訪問支援と保護者支援に対応できるようにしている。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		業務改善は管理職も職員も同席して実施している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向けアンケートを実施して、意見を参考にしながら業務改善に努めている。		
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的に会議を行い、意見交換をして業務改善につなげている。また、従業員向けのアンケートを実施して、職員の意見を集約している。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		今年度は実施していないが、8年度から実施する。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		専門研修・必須研修(人権・接遇等)を年間計画を立てて実施している。新規採用職員には保護者支援、発達障がいの理解と支援などの研修を別途実施した。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員個人の意見に偏りがでないように、肢体不自由児については食事や運動面の内容について、PT・OTから助言をもらうこともある。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		訪問先に施設でも支援計画を共有し、可能な限りの支援を実施している。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールと訪問先施設での行動観察によるインフォーマルなアセスメントの両方を活用している。家族からの聴き取りもしている。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		事前に「ねらい」や「具体的な関わり」「役割」を確認している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		その日に支援の振り返りができなかったときは、後日必ず支援内容を共有して意見交換している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先施設の保育理念や方針の把握に努め、内容を尊重した上で、支援の助言をした。		
18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		学期に一回の訪問支援のため、記録は1回ごとの観察を大切に、細かに記録するように努めている。			

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画作成の際に、モニタリングの時期を明確に定めるようにしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議を定期的実施した。	
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		センター全体として連携を図っている。支援の一環として研修会を実施している。	
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	今年度は就園・就学の移行はなかったため、実施していないが、担当したお父さんがそうした状況になった場合は、関係機関と相互理解を図る。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		法人全体で、外部講師による児童部門の専門研修を受講した。また、発達障がい者支援センターから講師を招き、コンサルテーションを実施する等して、質の向上を目指している。	
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約・オリエンテーションの際に、丁寧に説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の意向を伺い、適切に計画書に取り入れて記載している。保護者の意向と子どもの状況はすり合わせしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		対面で支援計画書の説明を行い、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		個別支援計画とモニタリングに関する面談は定期的実施したが、それ以外での顔合わせが少なかった。今後は担当者から連絡を取るようにしていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口を設置して、相談・申し立てがあった場合は迅速に対応できるように契約書に記載している。今年度は申入れ等はなかった。	
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				
訪問先施設へ	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		外勤で個人情報の持ち出しをする場合は「個人情報取扱命令簿」に記載する。配布書類はダブルチェックしている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		相談があった場合は受けて、すぐに返答できない場合は持ち帰って確認してから、助言している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問支援をした後で、担任と子どもの対応について振り返りを行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問支援をした後で、保護者と面談をして、園の様子と支援した内容を伝えている。	

の 説 明 等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		「問35」と同じ。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		当法人では業務の関係上、年3回の保育所等訪問支援を行っているため、訪問先施設との信頼関係を築くことに難しさを感じている。訪問先施設の理念等を考慮した助言はしている。	
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会の設置をしている。年間計画を立てて研修を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		拘束に該当しそうな行為がある場合は、保護者と事前に確認し、個別支援計画書に記載するようにしている。契約時にも保護者へ説明をしている。	